様式2

令和8年8月28日

令和8年度　評価計画及び自己評価

（ 計画(・中間)・最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	〈広南学園〉 未来を創る 「誇りを持って故里を語り，受け継ぎ，発展を担う志と力を育てる教育の創造」	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	平成27年度から「学びの変革」パイロット校の指定を受け，新学習指導要領の方向性を踏まえた教育の具現化を進め，特色ある教育課程および学校文化（礼節・挑戦・創造・貢献）が持続可能となる組織体制を構築してきた。また，新学指導要領が全面実施され指導と評価の一体化がより鮮明になり，授業改善と評価改善を両輪として取り組み始めた。本年度も昨年度の成果と課題を踏まえ，引き続き，授業改善と評価改善を両輪とした取組を進めながら，主体的に考え議論し自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して，本校の特色ある教育課程を継続・発展させた取組を進めていく。
育成を目指す資質・能力	挑戦・探究　責任・使命　感謝・貢献　協力・協働　知識・技能　情報収集・判断　思考・表現

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　(2)　・　3　年目）						自己評価					
						9　月			1　月		
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g　指標（効果を見とる目安）	h 目標値	i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★	(貫) 9年間を通して，確かな学力を育成する	(貫) 生徒の問いを生かした「考える授業づくり」を推進させた授業改善	・三角ロジックとICTを効果的に活用した，グループ別研究授業を，各教科で1回行う。 ・振り返りを次時に繋げていく。	・「ICT」「三角ロジック」の活用についての教師アンケートの肯定的評価の肯定的評価の割合（R7：88%） ・「授業では理由を明らかにして発表している」の生徒アンケート肯定的評価の割合(R7:81%) ・全国学力・学習状況調査結果の全国平均値との差(R7:平均＋12.7)	80% 80% ＋4.0	83% 88% 平均+9.55	103% 110% 239%	A A A			
		妥当性，信頼性を高めていく評価改善	・自らの学習を調整しようとする「振り返り」を充実させる。	・授業観察者評価シート「生徒は，振り返りにより，自分が身に付けた学び方を認識している」の肯定的評価の割合(R7:100%)	90%	未実施					
★★	(貫) 礼節と挑戦心を身に付け，健やかでたくましい心と体を育成する	生徒の相互指導能力の向上による学校の伝統文化の継承・発展	・生徒自身の課題とするために生徒会からの自主的な活動とする。 ・伝統の継承・発展に向けた生徒会の自律的な活動へ教師の立場から組織的に支援する。	・「生徒会，委員会の提案する活動に積極的に協力しています」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:96%)	90%	96%	106%	A			
		体力の向上	・「体力ONE UP PROJECT」による主体的な体力向上の推進	・個人内目標を達成した生徒の割合(R7:97%)	90%	86%	95%	B			
		不登校・低学力等の課題への組織的な対応能力の向上	・生活ノートや教育相談などで，個々の生徒の指導方針を明確化し，個別指導と個別支援を組織的に進めていく。	・「毎日生活リズムを整えて生活しています」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:69%) ・「将来の夢や目標を持っている」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:80%)	85% 90%	73% 84%	85% 93%	B B			
★	(貫) 自己有用感を高め，活力を生み出す学校をつくる	地域に感謝・貢献し，地域の人材を活用しながら地域と協働できる場の充実	・3学年「広南まちづくりプロジェクト」をはじめとして，総合的な学習の時間で各学年地域で挑戦する場を設定する。	・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:88%) ・「地域との関わり」についての保護者アンケート肯定的評価(R7:98%)	85% 90%	82% 97%	96% 108%	B A			
		いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりを推進する。	いじめ撲滅キャンペーン中に「いじめ撲滅ウィーク」を設定し，生徒集会や挨拶運動，いじめ撲滅標語コンクール等を実施する。	・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思います」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:100%)	100%	98%	98%	B			
		(貫) 生徒の「自分の命は自分で守る」力の育成	・「7・9広南防災の日」祈念式，地域や専門機関と協働した防災学習・避難訓練等を実施する。	・「防災について，家族や地域の人たちと関わりながら,自分の命は自分で守る力をつけている」についての生徒アンケート肯定的評価(R7:94%)	95%	94%	99%	B			
業務改善	(貫) 働き方改革を推進する	(貫) 長時間勤務の縮減に向けた業務改善	・職員のタイムマネジメント力の向上を図る。（時間外勤務総量の自己調整） ・モジュール校内研修の実施。（職員朝会の活用） ・「学校行事」や「教育活動」の振り返りの充実。	・時間外勤務時間45時間未満である職員の割合(R7:58%) ・「心理的安全性が確保されている」についての職員アンケート肯定的評価 ・「日々の業務の中で充実感を得られている」についての職員アンケート肯定的評価	100% 90% 90%	70% 86% 86%	70% 96% 96%	C B B			

【k:評価】
A:100≦（目標達成）　B:80≦（ほぼ達成）＜100
C:60≦（もう少し）＜80　D:（できていない）＜60